

高速道路と観光地域づくり

－国土計画協会的高速道路利用・観光・地域連携推進プラン支援事業による取組事例の整理・分析－

一般財団法人国土計画協会専務理事
事務局長
高速道路課

太田 秀也
黒沼 茂実
高野 倉慶子

国土計画協会においては、高速道路等を活用した地域における観光振興・地域活性化の取組みを促進するため、高速道路利用・観光・地域連携推進プラン支援事業（以下「本支援事業」という）を実施している。

本支援事業は、高速道路の利用を通じた観光及び地域交流の推進を図る観点から、公益的団体等が主体となって実施する取組み（高速道路や高速道路のSA・PA・IC・スマートIC等を活用した取組み、高速道路の利用者の利便増進に関する取組み及び観光に関する取組み）を募集し、審査のうえで、先導的・モデル的な事業・プロジェクトを毎年3件程度採択し、1件当たり3年間で最大1000万円の（事業の立ち上げ費用等の）支援を行う事業である。

本支援事業は、財団法人高速道路交流推進財団が2006年度から行っていた「観光資源活用トータルプラン」を国土計画協会が2013年度に受け継いだものであり、2006年度採択事業から2022年度採択事業をあわせると、採択事業は49件と、一定程度の蓄積を有する状況となっている（p.47の実施プラン一覧参照）。

本稿では、この49件の取組み（実施中のものも含む）について、具体の事例も取り上げながら、整理・分析を行い、本支援事業により得られた観光地域づくりに資する知見、他の観光地域づくりの事例等の知見からみた本支援事業の課題等について、考察することとした。

1. 本支援事業による取組みの整理・分析

(1) 取組事例の類型

i) テーマ・目的による分類

下記のように、様々なテーマによる取組みが行われているが、地域の「歴史・伝統・文化」に関する取組みが多い。その中で、地域産業、食に関

する取組みも見られる。次いで、地域の「自然・景観」に焦点をあてた取組みも多い。

<歴史・伝統・文化>

地域産業（繊維、茶、工房、鉄、蚕糸）や食（麺、郷土料理）に関するものが一定程度見られ、その他としては、巡礼、神話、結、史跡、街道巡り、鎮守府、日本庭園、伝統建築、祭り、映画製作、アニメ、災害伝承等が見られる。

<自然・景観>

温泉に関連するもののほか、ガーデン、茶畑景観、農村、ふるさと原風景、里山、星空等が見られる。

<その他>

教育観光・遊学、スポーツ・健康（サイクリング、マリンスポーツ、サウナ）、交通（舟運、バイクツーリング）などのテーマも取り上げられている。

※なお、メインのコンテンツのテーマでないが、（東日本大震災からの）震災復興、日本遺産・世界遺産、インバウンド観光なども付随的なテーマとしてみられる。

ii) 内容による分類

取組みの内容をみると、高速道路を活用した本支援事業の性格から、広域・周遊ルート整備の取組み（道の駅等との連携、広域・周遊プランディングを含む）が過半をしめる。

他方で、主に一自治体内あるいは自治体内の地域における観光地づくりの取組み（地域資源発掘、観光地ブランディング等）や、特定のスポットにおいて集客等を目的とした拠点整備の取組みも見られる。その他、旅行商品造成（教育旅行、体験プログラム、ネクスコのドライブプランとの連携等）、名産品開発、滞在型観光イベント、セールスプロモーション、情報発信等の取組みも見られる。

(2) 実施メニュー

実施メニューとしては、以下のような様々なものが見られる。

- ・パンフレット・マップ作成
- ・スタンプラリー・ネクスコのドライブプラン（速旅等）との連携・PR
- ・旅行会社によるツアー誘致
- ・案内アプリ開発
- ・レンタサイクル
- ・イベント開催（SA/PAでの開催を含む）
- ・モニターツアー開催
- ・名産品・グッズ・書籍等の企画・販売
- ・集客施設、休憩施設、飲食施設、宿泊施設などの整備・運営、案内板設置
- ・情報発信（案内サイト作成、SNSによる情報発信、PR映像作成、情報誌への掲載、TV・ラジオ放送等）
- ・ガイド養成・教育（接客改善マニュアル等）
- ・インバウンド誘客
- ・検討会、ワークショップ、セミナーの開催
- ・地元組織・事業者等との連携

(3) 実施主体

実施主体としては、観光協会、観光地域づくり法人（DMO）、商工会議所、雇用促進事業団のほかに、推進協議会、地域団体、NPO法人、任意団体など、様々な主体がある。属性としては、公益的な団体が多いが、ホテル事業者などの協議会や、民間事業者が取り組む事例も見られる。

また、既存の組織に加え、本支援事業に応募するため、新たに組織を結成・設立している場合も見られる。

(4) 実施地域

広域・周遊ルート整備の取組みが多いことから、複数都府県を越境した地域に及ぶ場合や、都道府県内全域あるいは複数市町村の区域を対象とするものが多い。一市町村内によるものも若干みられる。

2. 評価と課題

(1) 観光地域づくり全般の動向

観光政策に関する最近の動向を概観すると、2003年に小泉総理が「観光立国懇談会」（1月）を主宰し、観光立国懇談会報告書（同年4月）が出され、ビジット・ジャパン事業が開始されて

いる（同4月）。その後、観光立国推進基本法成立（2006年）、観光立国推進基本計画決定（2007年）、観光庁設置（2008年）と進展した。

このなかで、観光地域づくりについては、観光立国懇談会報告書において掲げられた「住んでよし、訪れてよしの国づくり」の理念をベースとし、観光は旺盛なインバウンド需要の取り込みなどによって交流人口を拡大させ、地域を活性化させる原動力となるものとして、「地方創生」施策の大きな柱として取り組まれている。その上で、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔としての役割を果たす観光地域づくり法人（DMO）の登録制度が2015年に創設され、DMOにおいて観光資源の磨き上げや受入環境の整備等が進められている。

2023年3月に改訂された「観光立国推進基本計画」では、観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つをキーワードに、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の3つの戦略に取り組むことが基本的方針として掲げられている。

以下では、これらの観光地域づくり全般の動向も踏まえ、本支援事業の評価や課題について考察する。

(2) 本支援事業による取組事例の評価

i) 取組事例の特色

地域の特性に応じた、様々なテーマや内容による取組みがみられるが、特に、高速道路活用という本支援事業の特色を活かした成果としては、高速道路によるアクセス向上などを契機とし、広域ルート設定、各地域の事業者の連携による広域観光の取組みが、本支援事業の特徴として、今後の他地域での取組みにも参考となる。具体的には、例えば、北海道ガーデン街道（プラン⑪）では、道央自動車道・道東自動車道で（新千歳空港、札幌市等から）アクセスできる大雪～富良野～十勝を結ぶ全長約250kmの街道沿いに点在する8つの庭園をつなぐルートを設定し、2泊3日の滞在型観光を視野に、共通入場券等の企画による各事業者が連携した広域的な取組みを行っている。3.11伝承ロード（④）では、三陸沿岸道路全線開通を契機に、地域観光資源と震災伝承施設を融合させる取組みを行っている。また、高速道路のインターチェンジ（スマートICを含む）開設、高速道路へ

の自転車道整備などを契機とした取組みとして、地元のアニメ制作会社とコラボしアニメを媒介として二地域を連携した取組み(湯涌・南砺^④)や、地域の店舗等と連携したサイクリストへのサービス向上の取組み(しまなみ^{②③⑦})も見られる^{注1)}。

あわせて、高速道路の運営主体である高速道路会社と連携し、高速道路周遊バスと観光施設をセットして料金割引となるドライブプランの企画、SA・PAによるイベント開催等の取組みも行われている。

広域観光ではないものでも、地域の他の観光関係事業者等と連携した取組みも見られる。例えば、ホテルのレストランと連携した地域特産のお茶を用いた食の企画(和東^⑮)、地元料理店と連携した伝統料理である鯉を活かした企画(小城^⑳)等があげられる(これらも高速道路のインターチェンジ(スマートICを含む)開設によるアクセス向上などを契機とした取組みである)。

加えて、観光のニーズや形の変化に合わせ、新たなテーマ(アニメ、サウナ等)による取組みも注目される。

ii) 地域に与えた影響、財源確保の取組み

観光地域づくりにおいて重要であると考えられる地域に与えた効果、財源確保の取組みについてみると、まず、地域に与えた効果については、広域での観光客の誘致や地域の連携が図られた事例(北海道ガーデン街道、湯涌南砺)、地域事業者の新たな結束が生まれた事例(湯涌・南砺)、地域ブランドを高めた事例(しまなみ(自転車の聖地))、地域における他の団体等の取組みに波及した事例(小城)、物産割引券配布により来訪者の地元消費喚起した事例(小城)が見られる。加えて、地域のコーディネーターとして、地場の茶産業の振興(和東)、サイクリストと住民の交流促進(しまなみ)を進めている事例も参考となる。

つぎに自主財源など事業運営の財源確保に関しては、ドライブプランと連動したグッズ販売やアニメ作品を活かした書籍の企画編集・販売(湯涌・南砺)、指定管理を行うことで手数料に加え自主事業の展開により収益をあげている事例(湯涌・南砺)、出版業・旅行業・宿泊業等により収益をあげている事例(しまなみ)、共通入園券により財源を確保し、それにより共通パンフレットや共同プロモーションを行っている事例(北海道ガーデン街道)等、多様な収益手段が講じられている点が参考となる。加えて、本協会からの支

援をはじめ様々な助成を得て、新しい分野への参入、ニーズ把握、社会実験等を企画し、新たな自主事業の確立につないでいる事例(しまなみ)も参考となる。

(3) 本支援事業の課題及び今後期待される取組み

本支援事業は、地域における高速道路等を活用した観光振興・地域活性化の取組みを促進するため、先導的・モデル的な事業・プロジェクト(の立ち上げ費用等)に支援を行うものであり、観光ニーズ等の変化に応じ、今後とも、多様なテーマ・目的、実施メニュー、主体・地域など、様々なタイプの先導的・モデル的事业が創出されることが望まれる。

その観点からすると、広域・周遊ルート整備の更なる深化・展開や、これまで実施されたテーマ等の取組みの更なる発展に加え、下記のような取組みも今後期待される。

i) テーマ等

他の観光地域づくりの取組事例なども参考になると^{注2)}、例えば、次のようなものが考えられる。

- ・エコツーリズム、アドベンチャーツーリズム、持続可能な観光(環境配慮、自然資源活用、オーバーツーリズム対策等)
- ・産業観光(工場、地場産業、産業遺産等)、ガストロノミーツーリズム、インフラツーリズム(公園、河川等との連携を含む)
- ・滞在型観光(地域全体での体験プログラム・アクティビティ提供等)
- ・その他(街・都市(街歩き、食べ歩き、都市景観等)、偉人遺産、健康長寿など)

ii) 事業展開

観光地域づくりの取組みを継続的に行うためには、自主財源の確保が重要であり、そのためには、収益性のある事業の確立に取り組むことが望まれる^{注3) 4)}。具体的には、商品開発・販売、ガイド事業・体験プログラム造成(そのためのプロガイド養成)、施設公開・活用(例えば能舞台の展示から能鑑賞(有料)実施へ)等などが考えられる^{注5)}。入込客数だけでなく、観光消費額を増やす必要もある^{注6)}。

また、「持続可能な観光」のためには、観光振興が地域経済への裨益につながることで、観光で得られた利益が地域に還元されるような取組みが重要であり^{注7)}、具体的には、収益の地域づくりや受入環境整備への再投資や地域づくり団体への還

元、Buy Localの取組み、地域（全体）ブランド確立等の取組みが考えられる。

iii) 実施主体

上記 ii) のような地域還元を効果的に行うためには、地域づくり・地域振興の包括的な組織が実施主体となり、地域づくり全般の中で観光に取り組み、地域全般に利益を還元することも有効であると考えられる。

また、観光の形が、名所見物型パッケージツアーに限らず、参加体験型観光、さらには、「そこに泊まりたい・そこで食事がしたい」というようなデスティネーションホテル・レストランなどを旅の目的とする観光の形にも広がっている状況を踏まえると、観光事業者・旅行関連施設事業者（体験観光事業者やホテル・レストラン事業者等）と連携した取組みも考えられる。

3. おわりに

以上、本稿では、本支援事業による取組みを概観することにより、今後の取組みのヒント・指針となるよう、本支援事業の取組事例から得られる実務的な事業の進め方などについて、本支援事業の取組事例の整理・分析を行った。

上述したように、本支援事業により一定の成果が見られるとともに、新たな取組みの行われている一方で、上述のような課題も見られるところであり、今後とも、本支援事業を推進することにより、地域における高速道路等を活用した観光振興・地域活性化の取組みを進めてまいりたい。

※本稿の内容は、筆者の見解であり、筆者の属する組織としての意見ではないことを申し添える。

〈注〉

- 1 安福・天野（2020）29頁では、広域観光の意義として、（単独の地域では十分な誘客が難しい場合にとる施策に加え）近年では、「たとえば、これまで観光者の移動があまりみられなかった地域同士を結ぶことにより、新たな観光需要を開拓したり、異なる魅力をもった地域同士が結びあうことにより、バラエティー豊かな観光メニューの提供を目指したり、さらには、類似の性格をもった観光地同士が連携する場合でも、よりテーマ性やストーリー性を強化する観光体験を提供することを目指すような「攻め」の連携のあり方も着目されている」とされており、本文で記した取組みは、そのような方向にあった取組みとなっているものと評価できる。なお同書41頁では、近年の広域観光の特色の一つとして、国の観光政策（観光圏整備法、広域観光周遊ルート形成促進事業、広域連携DMO等）をインセンティブとする戦略的な広域連携の推進が挙げられているが、本支援事業は、それらに加え

て、広域観光の取組みを促進するものと評価できるものと考えられる。

- 2 観光庁（2018）では、特定のテーマに重点を置いた観光振興（エコツーリズム、ガストロノミーツーリズム、酒蔵ツーリズム、ロケツーリズム、サイクルツーリズム、フットパスツーリズム、産業観光、インフラツーリズム、教育旅行、MICE誘致の促進、域内交通との連携）、地域資源の活用（農業の活用、文化・芸術の活用、遊休資産・古民家、歴史的まちづくりの整備と活用、道の駅の活用、公園の活用、かわまちづくり、砂浜海岸の活用、灯台の活用）、インフラの整備と活用（環境・景観整備、ユニバーサルツーリズム、クルーズ振興、港の整備）の事例が挙げられている。
- 3 観光庁（2022）によると、登録DMOでみると、その収入の内訳は、国・自治体からの補助金・交付金・負担金（56%）、自治体からの受託事業（17%）、収益事業（15%）、会費・寄付（3%）、特定財源（1%）、その他（8%）とされ、収益事業の割合は低いとされている。
- 4 観光庁長官（2015）においても、観光地域づくり法人（DMO）が戦略策定等の活動を自律的・継続的に行うためには、安定的かつ多様な運営資金を確保することが重要であるとした上で、（DMOの目的・役割は、収益を上げることではなく、自治体による一定の財政支援（補助金等）が必要となる場合が多いとしながらも）自主財源の確保に向け具体的に取り組むことが重要であるとし、自主財源の例としては、特定財源（地方税（宿泊税、入湯税等）、負担金）、自治体からの受託事業、収益事業（物販や滞在プログラム・旅行商品の造成・販売等）、会費をあげている。
- 5 事例としては観光庁（2022）参照
- 6 アトキンソン（2015）、藻谷・山田（2016）参照
- 7 敷田・内田・森重（2009）参照

〈参考文献〉

- 敷田麻実・内田純一・森重昌之（2009）『観光の地域ブランディングー交流によるまちづくりのしくみ』学芸出版社
- デービッド・アトキンソン（2015）『新・観光立国論』東洋経済新報社
- 藻谷浩介・山田桂一郎（2016）『観光立国の正体』新潮社
- 安福恵美子・天野景太（2020）『都市・地域観光の新たな展開』古今書院

〈参考資料〉（いずれも最終閲覧2023年11月1日）

- ・観光立国懇談会報告書（2003）
<https://dl.ndl.go.jp/view/prepDownload?itemId=info%3Andljp%2Fpid%2F3531353&contentNo=1>
- ・観光立国推進基本計画（2023）
<https://www.mlit.go.jp/common/001299664.pdf>
- ・観光庁長官（2015）「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」
<https://www.mlit.go.jp/kankochi/content/001340677.pdf>
- ・観光庁（2018）「観光地域づくり事例集ーグッドプラクティス2018ー」
<https://www.mlit.go.jp/kankochi/shisaku/kankochi/ikiiki.html>
- ・観光庁（2022）「観光地域づくり法人（DMO）における自主財源開発手法ガイドブック」〔事例は第5章〕
https://www.mlit.go.jp/kankochi/topics04_000162.html
- ・本支援事業要領
https://www.kok.or.jp/project/pdf/app_req_2023.pdf

実施プラン一覧

年度	NO	実施団体名 ※1	プラン内容 ※2	対象地域 ※3	テーマ・ 特色	内容類型 ※4	実施メニュー
2006	①	一般社団法人長崎県観光連盟	教会との協働による巡礼地の選定、ガイド育成、巡礼マップ作成等による「ながさき巡礼」創設のプラン	長崎県全域	歴史(巡礼)	広域・周遊	ルート設定、巡礼マナーブック作成、ガイド育成、案内板設置、マップ作成、イベント、情報発信
	②	気仙沼商工会議所	食(寿司)と建物(酒造)と景観をつなぐ広域観光ルートによる「時を紡ぐ空間づくり」プラン	岩手県(2) 宮城県(1)	歴史 食(寿司)	広域・周遊	ルート設定、イベント、情報発信
	③	株式会社信州せいしゅん村	信州のど真ん中・爽やかな高原地帯を巡り歩く広域観光ルート設定による「信州・桃源郷街道」プロジェクト	長野県(7)	自然	広域・周遊	ルート設定、広域観光マップ作成、ITC・SNS による情報提供、農村体験、ウォーキング
2007	④	日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会	日豊海岸に残る「浦文化」を掘り起こし、面として繋ぐ「浦(URA)文化復興(ルネサンス)プロジェクト」	大分県(3)	文化	広域・周遊	協議会設置、周遊コース設定、ガイドブック作成、浦の伝道師育成、道路ネーミング募集、ロングステイのための空き家バンク事業
	⑤	会津まほろば街道観光資源活用トータルプラン推進協議会	会津の寺社仏閣、郷土料理などにふれる「会津まほろば街道」体験空間事業	福島県(3)	歴史(史跡)	広域・周遊	語り部、ガイド養成、散策モデルコース設定、グリーンツーリズム、レトロバス実証運行、情報発信
	⑥	公益社団法人福井県観光連盟	街道沿線に残る「天下」の観光資源の掘り起こしによる「ふくいやまぎわ歴史街道」の発掘	福井県(6)	歴史(街道)	広域・周遊	広域連携協議会設置、講座開催、ボランティアガイド育成、ウォーキングコース整備、街道通行手形発行、マップ作成、ツアー造成、情報発信
	⑦	公益社団法人島根県観光連盟	銀の国(石見銀山)・鐵の国(たたら製鉄)を結ぶ島根産業ジパング体験ルート創設	島根県(7)	地域産業	広域・周遊 (2 地域)	観光・まちづくり・行政等の連携協議会設置、モデルルート設定、マップ作成、産業体験プログラム(たたら等)及びリーダー養成、ビジターセンター設置、古民家を活用した宿泊施設整備、情報発信
2008	⑧	南阿波観光振興協議会	霊場と農村舞台群・阿波人形浄瑠璃等のネットワークによる「新たな道の文化」の創出プラン	徳島県全域	文化	観光地づくり	特産品(遊山箱弁当)開発、ニュー遍路コース設定、モニターツアー、エコツーリズム、グリーンツーリズム、インストラクター養成、農村舞台復活
	⑨	加賀温泉郷協議会	連泊滞在型観光を目指した「加賀四湯・ひなかプロジェクト」	石川県(2)	温泉	滞在型観光	湯めぐり手形・湯めぐりグッズ作成、湯けむり体験ツアー(美容、工芸等)、街道愛称募集、写真コンテスト、ウォーキング、ご当地グルメ選定、キャラバン隊等キャンペーン
	⑩	工房街道推進協議会	奈良県東部の中山間地域に立地する工房のネットワーク化による「工房街道づくり」プラン	奈良県(9)	地域産業	広域・周遊	イベント・ツアー・フェア実施、交流拠点づくり、街道ブランド品開発、食文化向上
2009	⑪	北海道ガーデン街道協議会	観光庭園をネットワーク化したツーリズムヴェール(グリーンツーリズム)の構築による滞在型観光を促進する「北海道ガーデン街道」プラン	北海道(6)	ガーデン	広域・周遊 滞在型観光	周遊ルート設定、周遊チケット作成、モデルツアー実施、ロゴマーク・マップ作成、案内看板設置、ガイド養成、シンポジウム、イベント
	⑫	のしろ白神ネットワーク	地域の特産である木(白神山地ブナ林、秋田杉等)を活かした「のしろ白神の道づくり」プラン	秋田県(2)	地域産業	広域・周遊	周遊ルート設定、手形発行、体験学習、グッズ開発・販売、情報提供

年度	NO	実施団体名 ※1	プラン内容 ※2	対象地域 ※3	テーマ・ 特色	内容類型 ※4	実施メニュー
2010	⑬	若狭・中丹広域観光誘客協議会	舞鶴若狭自動車道開通を見据え、祭り・行事・イベントに着目した“素朴”さを活かした「ひと肌を感じる出会いづくり」プラン	福井県(6)	祭り	広域・周遊	連携体制整備、祭り体験観光、ハレの文化のオリジナルグッズ開発、農林漁業体験プログラム
	⑭	特定非営利活動法人越後妻有里山協働機構	地域資源をアートと道でつなぐ「大地の芸術祭の里 里山アート街道」プロジェクト	新潟県(2)	芸術祭 里山	広域・周遊	アート作品活性化、コミュニティデザインプロジェクトのプラン策定、ブランディングコンセプト策定、ツールデザイン策定
	⑮	出雲商工会	神話の聖地 スピリチュアル・スポットを巡る旅	島根県(2)	歴史(神話)	広域・周遊	プロジェクト会議開催、周遊ルート設定、ガイドブック作成、写真・映像コンテスト開催、グルメ開発、プロモーション
2011	⑯	児島商工会議所	児島を「白・藍・糸・紡、せいの児島」としてブランディングし、綿と藍のオーナー制度、アートフェスティバル、回遊ルートを企画するプラン	岡山県倉敷市	地域産業 (ジーンズ)	広域・周遊	オーナー制度、イベント、回遊ルート設定
	⑰	村上市観光協会	昔ながらの生業(なりわい)の文化を物語として実感できるプログラムを整備し、プロモーションする「越後村上なりわい文化圏創造プロジェクト」	新潟県村上市	歴史(生業)	観光地づくり	コンテンツ(テキストブック)作成、モニターツアー、情報発信(パンフ・マップ、WEB サイト)、イベント
	⑱	和束町雇用促進協議会	体験プログラム、和束茶ブランド構築等による“茶畑景観”“茶文化”“茶源郷づくりプラン	京都府和束町	茶文化 茶畑景観	観光地づくり	体験プログラム、農家民泊、ガイド養成、商品開発
2012	⑲	北陸・飛騨・信州 3つ星街道観光協議会	金沢・五箇山・白川郷・高山の世界遺産やミシュラン 3 つ星観光地で培われた結に着目した「日本「結」街道」プラン	石川県(4)	歴史(結)	広域・周遊	風景街道ツアー開発、フォトコンテスト、さくら植樹、散策コース設定、味めぐりスタンプラリー、工芸体験、情報発信
	⑳	一般社団法人みやぎ大崎観光公社	歴史・自然・産業・人・交流の地域資源をつなぎ、地域を再生する「東北のセンターライン・未来プロジェクト」	宮城県(4)	歴史・自然等 (震災復興)	広域・周遊	観光 4 団体による推進協議会設置、モニター調査、特産品開発、モニターツアー、二次交通試験運行、イベント、情報発信
	㉑	備北観光ネットワーク協議会	地域の観光資源や体験プログラムによる備北留楽(留学)プラン	広島県(2)	歴史	観光地づくり	地域のおもしろ逸話冊子作製、ボランティアガイド養成、びほく通検定、留楽(体験)プラン提案のシステム構築、ガイドブック作成、情報発信
	㉒	特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ	しまなみ海道・とびしま街道・さざなみ街道をつなぐ周遊ルート設定、休憩・交流拠点整備による「瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想」	愛媛県今治市	サイクリング	広域・周遊	ルート設定、マップ作成、ツアー等アクティビティ充実、休憩・交流拠点の充実、情報発信
2013	㉓	一般社団法人鉄の歴史村地域文化研究所	歴史、文化の豊かな地域資源を生かした「ミュージアムトリップ」として「鉄の歴史村」から山陰と山陽を結ぶ中国地域の観光プラン	島根県雲南市	歴史・文化	広域・周遊	広域ルート設定、展示イベント、モニターツアー、プロモーション
	㉔	特定非営利活動法人東北みち会議	太平洋から日本海へつながる沿線の 7 つの道の駅(東日本大震災で全壊した道の駅を含む)を、情報発信や周遊型観光等の拠点として整備する「秋田・岩手「道の駅」横軸交流プラン」	秋田県(3) 岩手県(2)	(震災復興)	広域・周遊 (道の駅連携)	PR イベント(特産品販売等)、復興支援市、周遊コース設定、道の駅クイズラリー実施
	㉕	特定非営利活動法人浜名湖観光地域づくり協議会	浜名湖 SA を拠点とし、小型船舶発着の湖上アクセスポイントを設け、舘山寺温泉等への定期遊覧便の運航等の舟運事業を確立するプラン	浜名湖周辺地域	交通(舟運)	広域・周遊 拠点整備	舟運計画作成、環境整備、レンタサイクル、情報発信

年度	NO	実施団体名 ※1	プラン内容 ※2	対象地域 ※3	テーマ・ 特色	内容類型 ※4	実施メニュー
2014	②⑥	長野県中小企業団体中央会	地域コミュニティの場、旅人がくつろぐ場等としての農家レストランや農園、原風景を活かしながらの交流エリア構築を目指すプラン	長野県全域	農園・原風景	拠点整備	交流拠点(交流の駅)構築、交流会実施、イベント、PR 活動、モニターツアー
	②⑦	吉野大峯・高野観光圏協議会	自動車道開通を契機に、旅館、飲食店など観光関連事業者等の水準向上(商品開発講座開催、接遇研修など)、情報発信力を強化するプラン	奈良県(5)和歌山県(1)	—	商品開発 人材育成・ 教育	観光品質認証(星認定)、観光品質向上支援(接遇研修、商品開発講座等)、ウォーキングコース設定、ガイド養成、プロモーション
	②⑧	特定非営利活動法人やまなしサイクルプロジェクト	サイクリスト交流人口の拡大を通して、地域に元気を取り戻す「やまなしフルーツ街道 Enjoy ロードバイクプロジェクト」	山梨県峡南地域	交通(サイクリング)	拠点整備	イベント、拠点形成(展示ブース設置)、レンタサイクル、情報発信(マスコットモニュメント設置等)、インバウンド誘致
2015	②⑨	北十勝広域連携観光推進協議会	北十勝の三町の魅力を紹介する短編映画を国内・海外に情報発信を行う十勝地域活性化のプラン	北海道(3)	文化(映画製作)	観光地づくり (ブランディング)	映画と連動したプロモーション: 海外映画祭出品、多言語対応HP 作成、ガイドブック、イベント、ツアー商品開発、グルメ商品開発、周遊券発行
2016	③⑩	江名の町復興推進協議会	遠洋漁業の衰退、東日本大震災により、漁港の機能が失われた「港町江名」を地元の「おばちゃん」とライダーのコラボにより再生する「超高速道路参勤交代ツーリング」プラン	福島県いわき市周辺地域	バイク ツーリング (震災復興)	観光地づくり	交流イベント、スタンプラリー、まちづくりワークショップ開催、おばちゃん食堂開催、ご当地メニュー開発
	③⑪	西の鯖街道協議会	西の鯖街道エリアにおいて体験観光のブラッシュアップ、観光情報ツールの整備により「ふるさと原風景体験の街道」の実現を目指すプラン	京都府(2)福井県(2)	ふるさと 原風景	広域・周遊	スマートフォン観光アプリ開発、モニターツアー、ドローン撮影による街道風景の情報発信
2017	③⑫	多賀城・七ヶ浜商工会	冬も雪が降らない天候に恵まれている特性を活かし、マリンスポーツを軸とした取組みにより、「うみの都七ヶ浜」の創造を目指すプラン	宮城県(2)	マリンスポーツ	観光地づくり	パンフ作成、イベント、モニターツアー、TV 出演等による情報発信
	③⑬	にいがた庭園街道ネットワーク	国道 290 号沿線に存在する新潟の豪農等が作り上げた伝統建築、日本庭園と美しい景観の温泉地を結び付けた「にいがた庭園街道」確立を目指すプラン	新潟県(8)	(日本)庭園 伝統建築	広域・周遊	ネットワーク設立(施設・旅館・観光協会)、モニターツアー、チラシ・ポスター・パンフ作成、ガイド養成、講座開催、ツアー受入、イベント、視察・研修会
	③⑭	笠岡商工会議所	備中・備後地域に点在する麺文化と、尾道、鞆の浦、倉敷美観地区、備中松山城等との連携を図り、「備中備後麺の道」の形成をめざすプラン	広島県(2)岡山県(5)	食(麺)	広域・周遊	WEB サイト作成、スタンプラリー、観光冊子作成、チラシ作成、イベント(イートインカーイベント)、TV 出演等による情報発信
2018	③⑮	あぶくまロマンチック街道構想推進協議会	国道 399 号(通称あぶくまロマンチック街道)を観光の軸として、星空、自然、郷土料理を活かした交流人口拡大、伝統料理継承等を目指すプラン	福島県(5)	街道 星空 郷土料理	広域・周遊	体験ツアー(収穫、流しそうめん、星空観察等)、郷土料理お披露目会、オンラインツアー、郷土料理冊子作成、情報発信
	③⑯	公益社団法人やまなし観光推進機構	県内に点在する温泉地をネットワーク化し、高速道路利用により、手軽に銭湯感覚で温泉に親しんでももらう「やまなし温泉銭湯化プロジェクト」	山梨県全域	温泉	広域・周遊	「やまなし立ち寄り百名湯手帳」作成(25,500 部)、WEB サイト作成、スタンプラリー、SA・PA でのキャンペーンイベント
	③⑰	特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ	個人旅行・インバウンド観光の促進を目指し、しまなみ海道沿線の休憩施設、宿泊施設等との連携強化によるサイクリストへのサービス向上等を通じた自転車の聖地のブランディング強化を目指すプラン	広島県呉市～愛媛県松山市、香川県観音寺市(しまなみ海道等の周辺地域)	サイクリング (インバウンド)	広域・周遊 情報発信 ブランド強化	休憩施設・宿泊施設等との連携、旅行商品販売、英語マップ作成、サイクルクルージングブランド化(モニターツアー、サイクルシップ就航(事業者))、接遇マニュアル作成、自転車タクシー商品化、エコツアー

年度	NO	実施団体名 ※1	プラン内容 ※2	対象地域 ※3	テーマ・ 特色	内容類型 ※4	実施メニュー
2019	③⑧	一般社団法人小城市観光協会	小城スマートIC 開設によるアクセス向上を活かし、景勝地「清水の滝」周辺の集客事業及び「清水鯉料理」のブランド化などを展開するプラン	佐賀県小城市周辺地域	食(鯉料理)	拠点整備 郷土料理 ブランド化	集客スペース整備(風鈴トンネル、テントサウナ、ライトアップ等)、鯉料理ブランド化(ロゴマーク作成、観光看板設置)、PA でのイベント、インスタコンテスト、情報発信
	③⑨	のせでんアートライン妙見の森実行委員会	沿線自治体の芸術祭り等を基礎に、高速道路と鉄道の連携を図りながら里山地域観光促進をする「のせでんアートライン地域ブランディング事業」	兵庫県(2) 大阪府(2)	アート・芸術祭り 鉄道	イベント開催	地域ブランディング会議実施、WEB サイト作成、地域プロジェクト掘り起こし、リユース什器オークション実施(沿線店舗オープン促進)
	④⑩	岩手山サービスエリア周辺観光振興協議会	新たな広域周遊観光創造による「アグリツーリズム八幡平」を目指すプラン	岩手県八幡平市周辺地域	アグリ ツーリズム	広域・周遊	協議会設置、周遊コース作成、モニターバスツアー、旅行会社ツアー誘致、イベント、事業者向けセミナー
2020	④⑪	十勝サウナ協議会	サウナを活用したニューヘルスツーリズムによる通期での観光客の増加を目指す「十勝サ国プロジェクト」	北海道(3)	サウナ・健康増進	観光地ブランディング	体験プログラム、サウナめし・井開発、サウナパスポート販売、インフルエンサー招聘、先進地域調査
	④⑫	一般社団法人地域発新力研究支援センター	高速道路ネットワークを活用し、アニメ作品とのコラボ等によって、湯涌・南砺「物語が生まれる里」広域観光エリアの形成を目指すプラン	石川県金沢市 富山県南砺市	アニメ	広域・周遊	マップ作成、速旅ドライブプランとの連携、アニメ関連土産グッズ作成、体験プログラム開発
	④⑬	信州シルクロード連携協議会	蚕糸文化を持つ地域の連携を進めながら「絹」と他の観光資源の相乗効果により「信州シルクロード」の形成を目指すプラン	長野県(13)	蚕糸文化 (インバウンド)	広域・周遊	広域周遊型商品造成、マップ作成、スタンプラリー、教育旅行商品造成、インバウンド誘客促進(ユーチューバー・海外旅行会社招聘)、情報発信
2021	④⑭	一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構	三陸沿岸道路全線開通を契機に、地域観光資源と震災伝承施設を融合させた周遊モデル開発を目指す「3.11 伝承ロード New Destination プラン」	宮城県(3) 岩手県(5) 青森県(1)	災害伝承 (震災復興)	広域・周遊	周遊ルート設定、モニターツアー、情報発信
	④⑮	一般社団法人ちの観光まちづくり推進機構	中央・長野・上信越自動車道が形成する回廊上に存在する4つの日本遺産を繋ぎ、日本の農山村・くらしの原点を学ぶ旅「信州 4 大日本遺産めぐり」創出を目指すプラン	長野県(茅野市等) 山梨県(甲州市等)	農山村・くらし (日本遺産)	広域・周遊	周遊型商品造成、マップ作成、スタンプラリー、クーポン発行、ガイド養成
	④⑯	特定非営利活動法人黒島観光協会	佐世保鎮守府を中心に歴史、日本遺産、世界遺産の情報発信により、広域周遊型のフィールドミュージアムの形成を目指すプラン	長崎県(3)	歴史(鎮守府) (日本遺産、世界遺産)	広域・周遊	広域周遊型商品造成、オンラインツアー、マップ作成、スタンプラリー、体験観光プログラム、鎮守府写真展、情報発信
2022	④⑰	一般社団法人東松山市観光協会	宇宙地球・里山・歴史・レジャーを楽しく学び体験できる「地域まるごと博物館」をめざす首都圏中央「遊学+ミュージアム東松山・比企」創生事業	埼玉県(4)	遊学 ちかいなか	広域・周遊	広域ルート設定、デジタルスタンプラリー、ガイド養成、マイクロツーリズム・グリーンツーリズムツアー造成、情報発信
	④⑱	一般社団法人長野県観光機構	速旅で巡る信州アクティビティロード周遊プラン造成事業	長野県全域	(システム整備)	広域・周遊	速旅の区域拡大・商品ラインナップ強化、クーポンのデジタル化
	④⑲	一般社団法人大和飛鳥ニューツーリズム	大和飛鳥(明日香)の歴史・景観を保存・活用した「民家ステイ」による教育旅行誘致プロジェクト	奈良県(7)	歴史 教育旅行	教育旅行	教育旅行・研修旅行プログラムの充実、プログラム担い手のインストラクター・ファシリテーターの育成、誘致活動、情報発信

(備考) 2006 - 2012 は観光資源活用トータルプラン(財団法人高速道路交流推進財団)、

2013 以降は高速道路利用・観光・地域連携推進プラン(一般財団法人国土計画協会)

※1 団体名は現在の名称 ※2 基本的に当初プランの内容を本稿で整理したもの

※3 括弧内は構成市区町村数

※4 基本的に当初プランの内容からメインの類型を本稿で整理したもの